

# **グリップヒーター HG/SP 取り付けについて** 08Z51Z9CS11 **適合車種：Z900RS (2BL-ZR900C)**

このたびは、本商品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。  
ご使用の前に、本書およびグリップヒーター本体の取扱説明書を必ずお読みいただき、  
いつも手元に置いて、正しい取扱方法により永くご愛用くださるようお願い申し上げます。

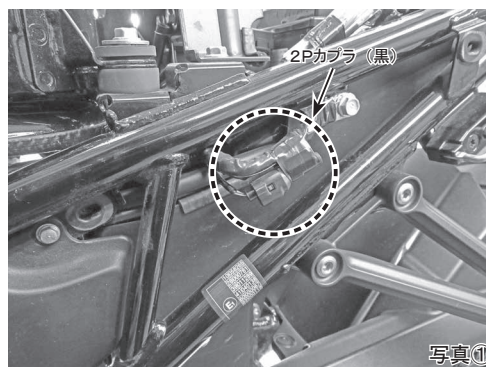
**警告** ※パッケージ、取扱説明書の注意事項や内容を無視してご使用し、重大な  
事故や損害が発生した場合でも弊社は賠償等の責は一切負いかねます。

## ●接続する前に

グリップヒーターを接続する前に車両のサービスマニュアルを参考にしてLH側のカバー類を取り外しておきます。

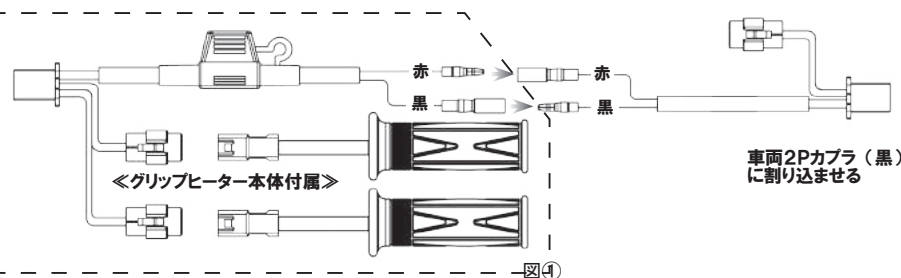
### ●構成部品●

- ・電源ハーネス・・・1本
- ・加工済みスロットルパイプ・・・1個
- ・取扱説明書



## ①配線の接続について（図①）

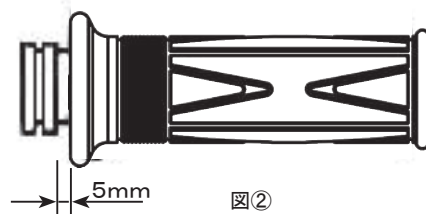
LHカバーを取り外した場所にアクセサリコネクタがあるので（写真①）、付属の電源ハーネスを割り込ませるように接続します。その後、図①を参考にして左右グリップ、スイッチを仮接続してグリップヒーターの動作確認をしておきます。問題無く動作すれば、グリップとスイッチはいったん外します。



**注意**

左右のグリップ共にグリップから出ている配線の位置を確認してから取り付けしてください。また、右側はスロットルを回した時に配線には絶対負荷がかからないようにしてください。グリップから配線が出ている部分は弱く、断線して破損してしまう恐れがあります。

《右グリップ》



## ●注意●

取り付ける際に、グリップヒーターのエンドをハンマーで叩いたり、グリップを強くねじったりしないでください。無理にグリップを押し込むと内部の熱線が断線してしまう恐れがありますので、絶対にしないでください。また、仮組みでグリップを暖める際に**1分以上**は暖めないでください（特に右側）。内部が変形してしまい、熱線が出てきてしまう恐れがあります。

※右側グリップはスロットルを全開にした時に、グリップから出ているケーブルに負荷がかからないように取り付けてください。

※必ず走行前にスロットルが正常に作動するかどうか手を離れた状態でスロットルが確実に全閉まで戻ることを確認、点検を行ってください。

## ②純正グリップの取り外し

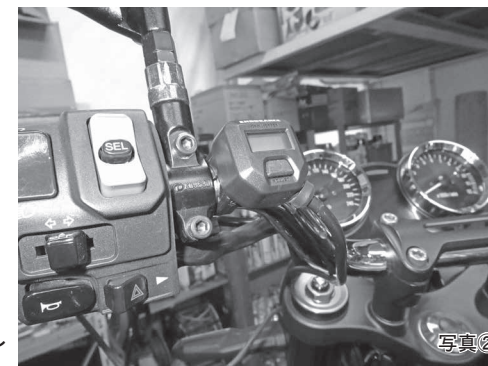
左右それぞれの純正グリップを取り外します。純正グリップが付いていたところに付着しているボンドをパーツクリーナーなどできれいに取り除きます。

## ③スイッチ部の取り付け

### ＜HGの場合＞

付属のステーをハンドルパイプに固定します。（写真②）

→ハンドルの形状上、ミラーホルダーの横以外での取り付けは難しくなっておりますので、ご注意ください。また、操作の邪魔にならない位置にクランプしてください。その後、両面テープで制御スイッチを固定します。



### ＜SPの場合＞

グリップヒーターを取り付ける前に、リングタイプスイッチをハンドルパイプの左側グリップ部に差し込んで固定します。

→このとき、車両の操作の邪魔にならない位置に固定してください。

## ④左右グリップの取り付け（参考例）

### ＜SPの場合＞

グリップヒーター本体の説明書を参考に、スペーサーを先に入れてからグリップを取り付けしてください。

### ＜以下、HG、SP共通＞

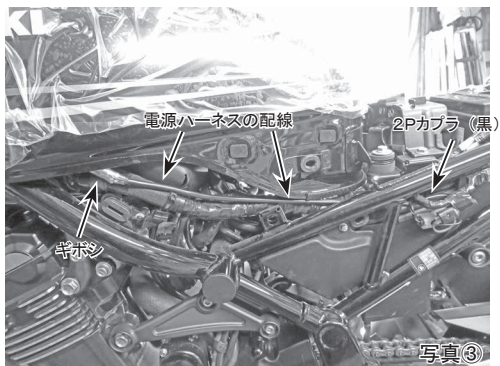
下記の図①を参考にして、本取り付けキットを使用してグリップヒーターを接続した後、スイッチをONにしてグリップが手で触って暖かいくらいまで仮組みで暖めておくと差し込みやすくなります。また、右グリップはサービスマニュアルを参考に純正を取り外して付属のスロットルパイプに交換して、図②のようにスロットルパイプとグリップ間が5MMくらいになるようにしてください。

### ⑤配線のまとめ（写真③、④）

左右グリップの取り付けが終わったら、電源ハーネスは写真③を参考にして車両ハーネスに沿わせるように取り回します。また、左右グリップの配線やグリップヒーターのハーネスは写真③を参考に取りまわして、電源ハーネスのギボシに接続します。

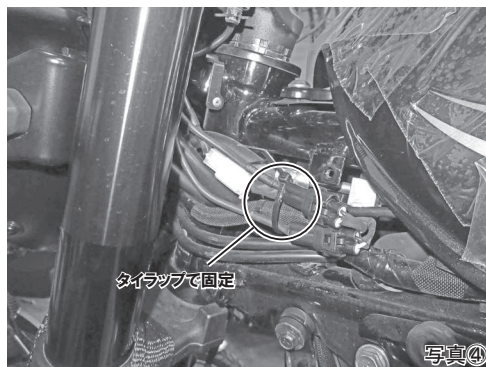
また、配線の長さが余ってしまっている部分はフレームの間の邪魔にならない部分にタイラップなどでまとめて固定します。（写真④）

→ハンドルを左右に動かしてハーネスに力がかかっていないか、ハンドル操作、レバーの操作の邪魔になっていないか、スロットル操作の邪魔になっていないかどうか確認します。



### ⑥取り付け完了

再度、グリップヒーターの動作確認を行い、問題なく温まったら、カウルを元に戻して取り付け完了です。



・グリップヒーター（スイッチ）の使い方はグリップヒーターの取扱説明書を参照してください。

※デザイン及び仕様変更・価格等は予告なしに変更する場合がございます。

※弊社の取扱説明書等、十分ご確認の上ご使用ください。

※弊社商品以外の保証は一切お受けできませんのであらかじめご了承ください。

※本書やWEB上でのイラスト、写真等の記載内容が本商品と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

有限会社エンデュランス 〒350-0822 埼玉県川越市山田1726 TEL 049-222-7770 FAX 049-226-1625  
endurance-parts.com

2020.03.30